

地域の活性化と循環

～中山町と学生との繋がり～



栗の駅 本館



中山農業化学高校 校舎



栗の駅 別館

皆さんは、中山町をご存じですか？ここは愛媛県の中部の山間部にあり、町自体は平坦だが、山に囲まれているため、高低差がある場所が多く存在してある。現在は伊予市、双海町と合併し伊予市の一部となっており、日本三大栗の一つでもある中山栗が有名だが、年々過疎化が進んでおり、その知名度は薄れてきている。そこで、道の駅と農業高校の二つを建て、地域の人々と学生たちで中山町を活性化させようと考えた。

主な活動内容

<全体>

中山町にはJAの集荷場があるため、JAと農家の人が関わりやすくなっている。そこで、中山町で栽培できる作物を学校でも授業の一環として栽培し、JAを通して品質検査を受けて合格したものを道の駅で販売しようと考えた。こうすることによって、学校側が授業という形で地域とJAとの連携を取ることができるので、今まで地域の人たちで考えていた過疎化問題を学校とも協力して解決していくことができる考えた。また、復興以外にも学生側は郊外に出て活動することができるので、JA の職員や農家の人から直接、農業の知識を得たり、道の駅での販売を通して商業の知識を得たりすることもできる。

<学校>

中山町の自然を使って園芸から林業、畜産、食品加工まで幅広く農業を学ぶことができるようになっている。PR活動は主に学校で作った作物や食品を販売することで、様々な知識を得ながら中山町を支えていくが、この他にも農業高校の利点を生かして、郊外の人たちに作物の収穫体験や動物たちとのふれあいなどのイベントを行ってもらうことによって、学生目線でのPRも進めることもできる。

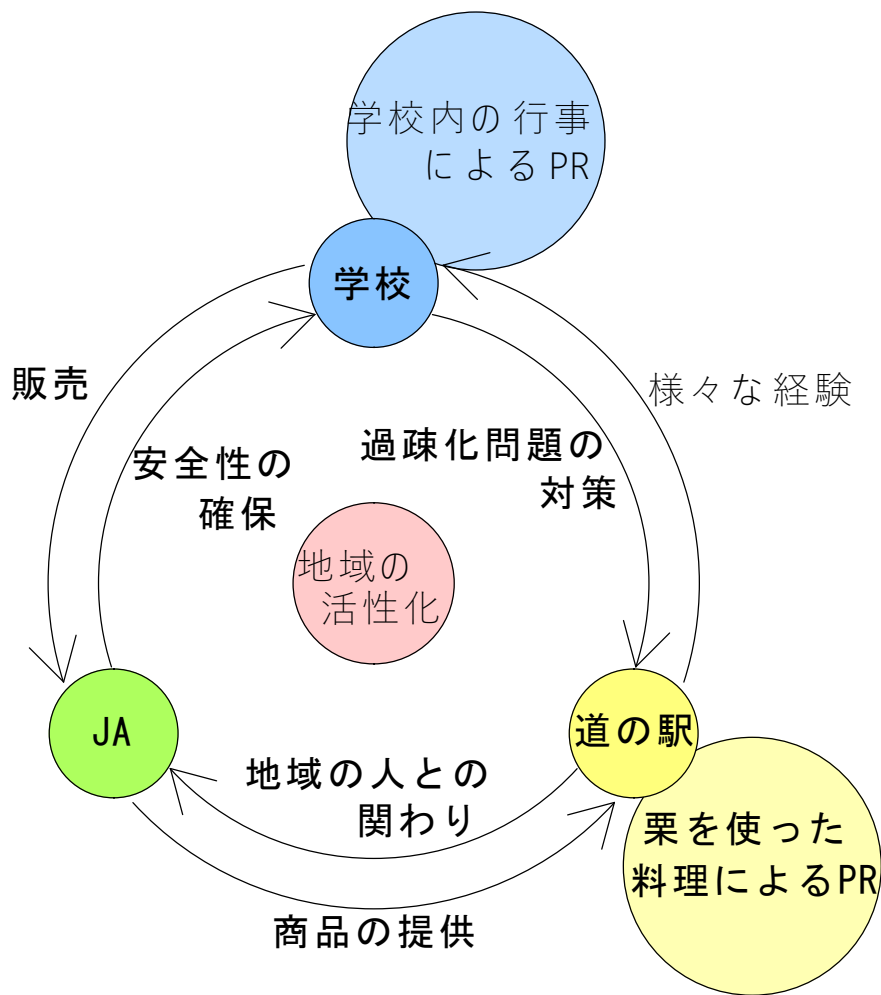
<道の駅>



ここでは、主に料理を使ったPRを行ってこうと考えている。道の駅内のレストランでは中山栗を使った栗ご飯など中山町ならではの料理を提供している。また、別館の方ではスイーツを専門にしており、中山栗を使ったモンブランや栗洋館などが置いてある。



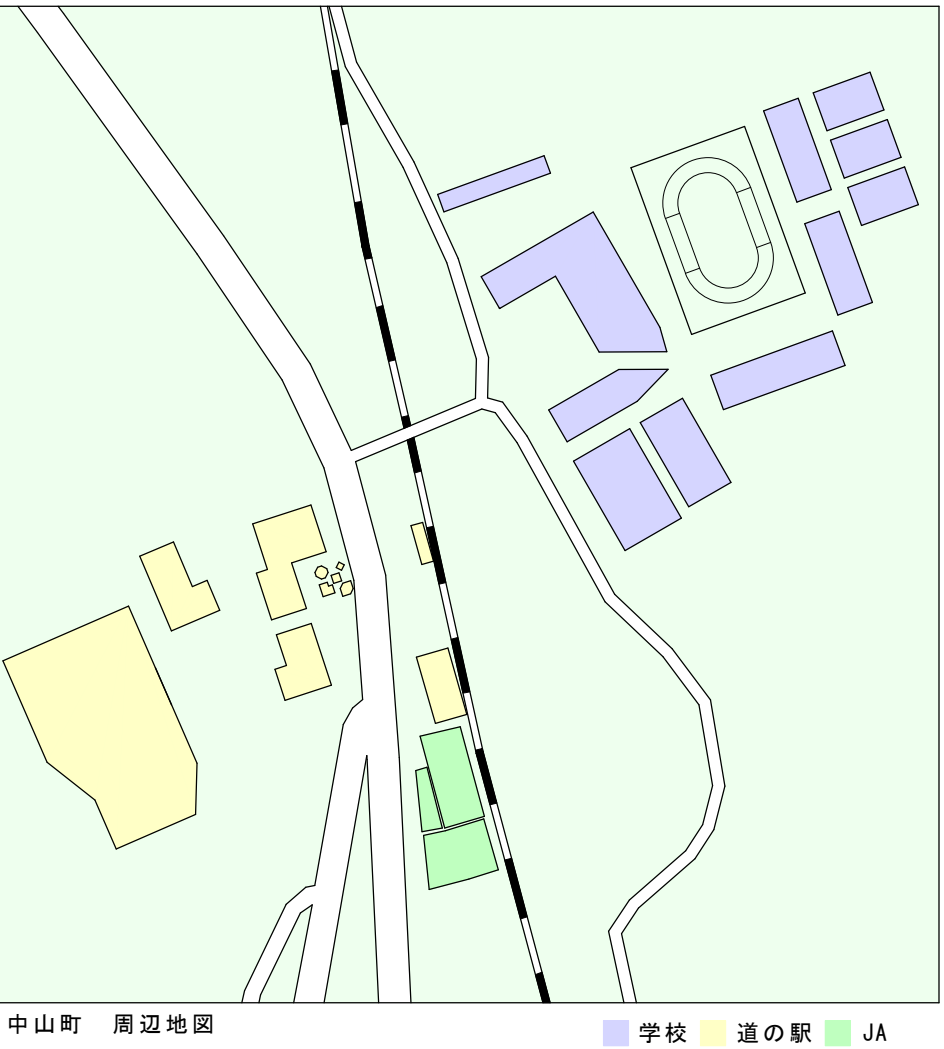
秋になると上の公園で栗拾いが楽しめるようになり、取った栗は別館の方でスイーツの調理体験に使うことができるので、取ったその日に調理して食べることができる。



関係性図

<JA>

JAでは農家の方々に様々な支援を行っている。また、買取側もJAで適正検査を受け、合格したものを持ち帰るため品質にも問題のない商品を得ることができる。ここでは、農業高校で栽培した作物をJAの品質検査に通すため、お客さんに安心して食べてもらうことができる。JAとの関りを得ることができるため、学校と協力してインターシップなどの取り組みも行うことができる。



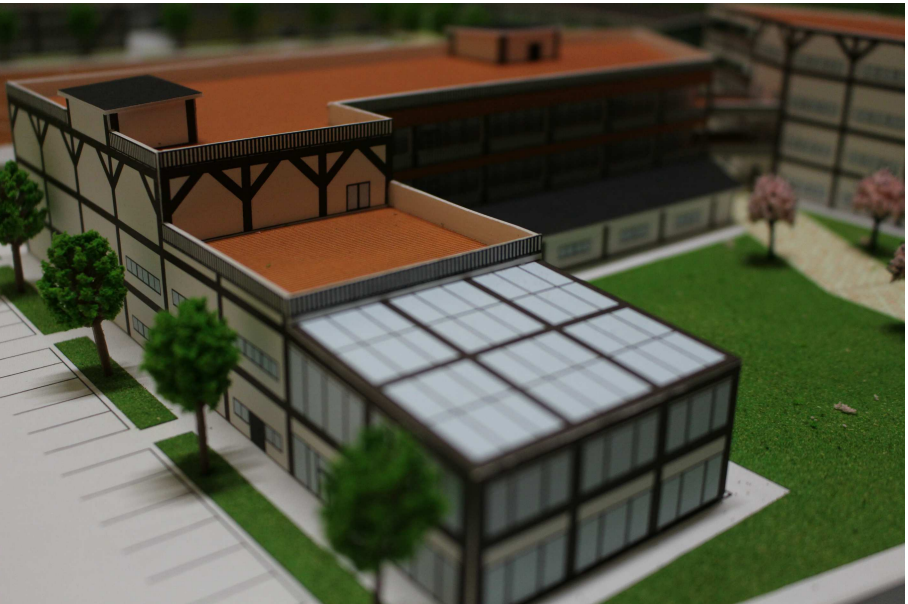
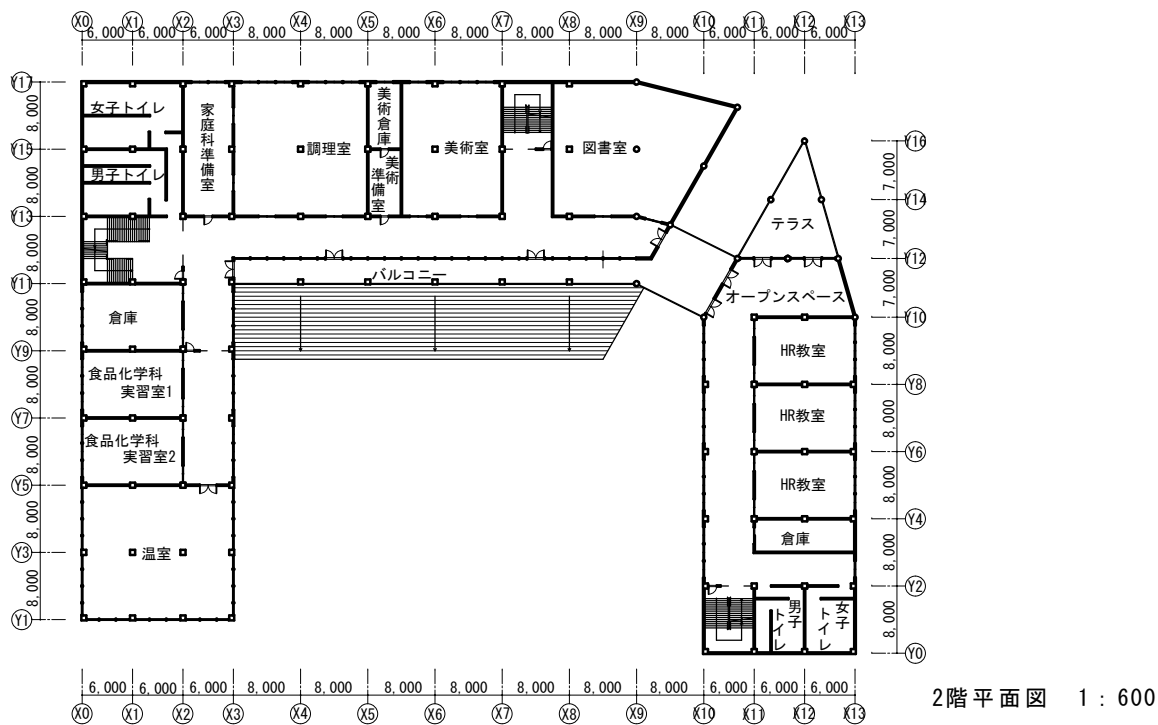
中山農業化学高校	
敷地面積	70,541.96㎡
総建築面積	10,295.8㎡
総延べ床面積	21,485.8㎡
建ぺい率	14.60%
容積率	30.46%

栗の駅	
敷地面積	38,765.41㎡
総建築面積	3,435㎡
総延べ床面積	5,776㎡
建ぺい率	8.86%
容積率	14.90%

学校「中山農業化学高校」

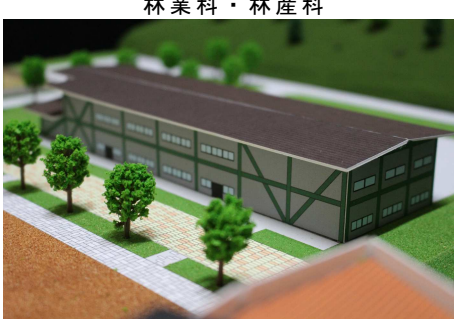
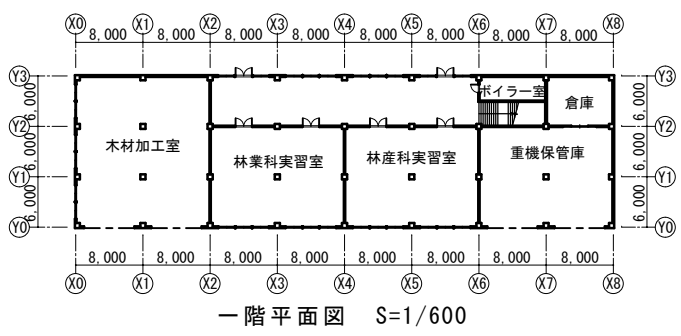
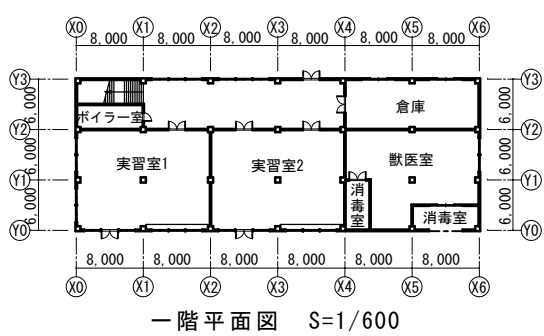
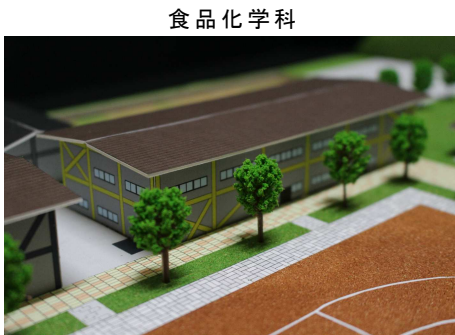
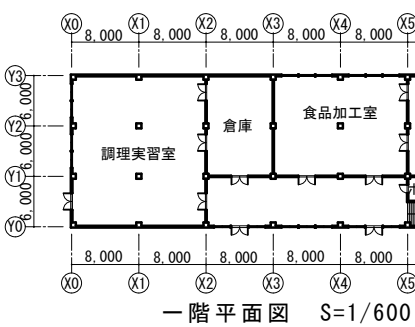
①. 校舎

生徒数は約300人と少数だが、園芸科・食品化学科・畜産科・林業科・林産科の五つの科で活動しており、中山町の自然を生かして農業の幅を広くしている。校舎内には各HR教室や特別教室などの主な教室が集まっているが、北側には二階に食品化学科の実習室があり、校舎内で温室などを使った栽培ができる。



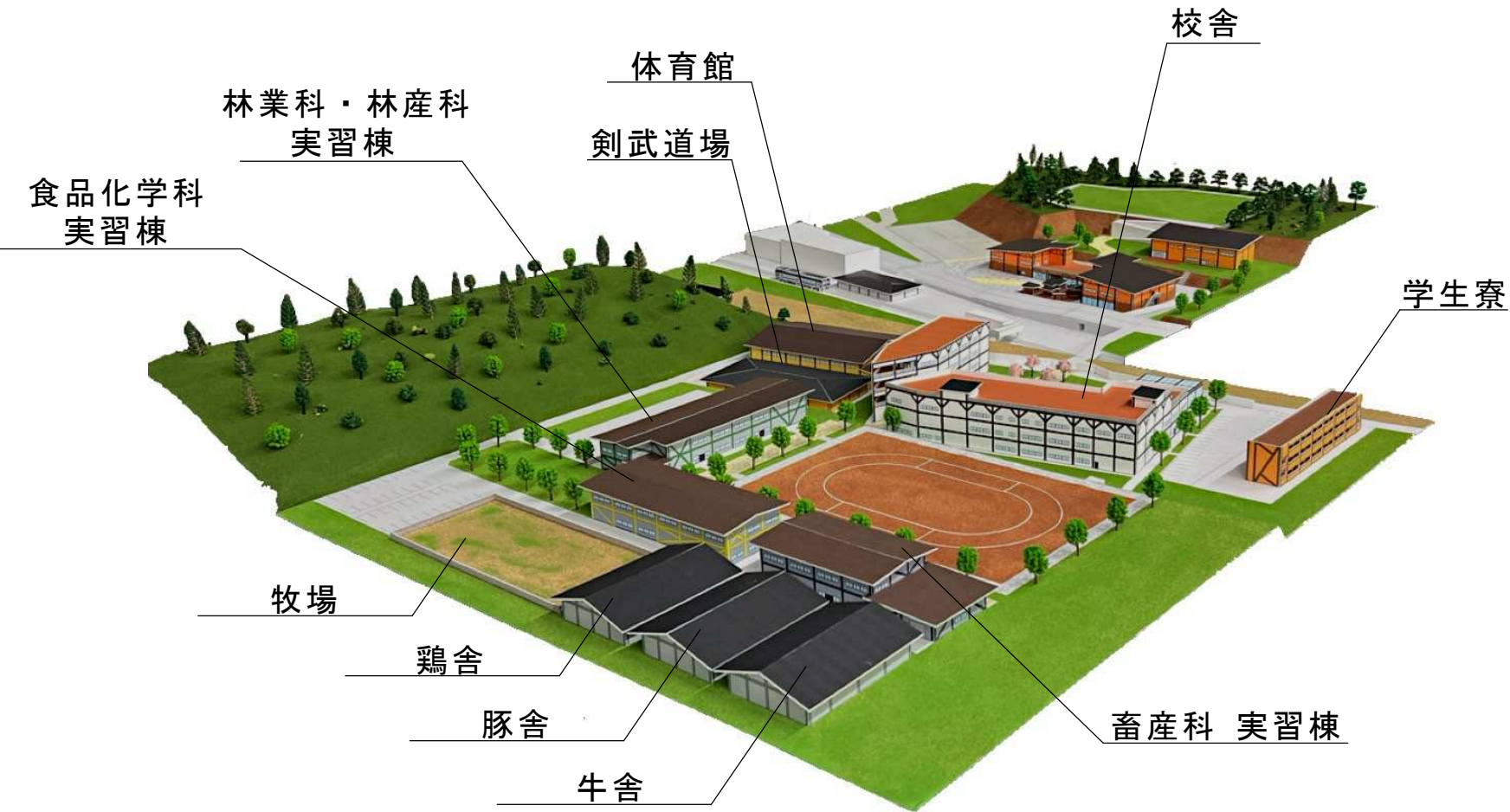
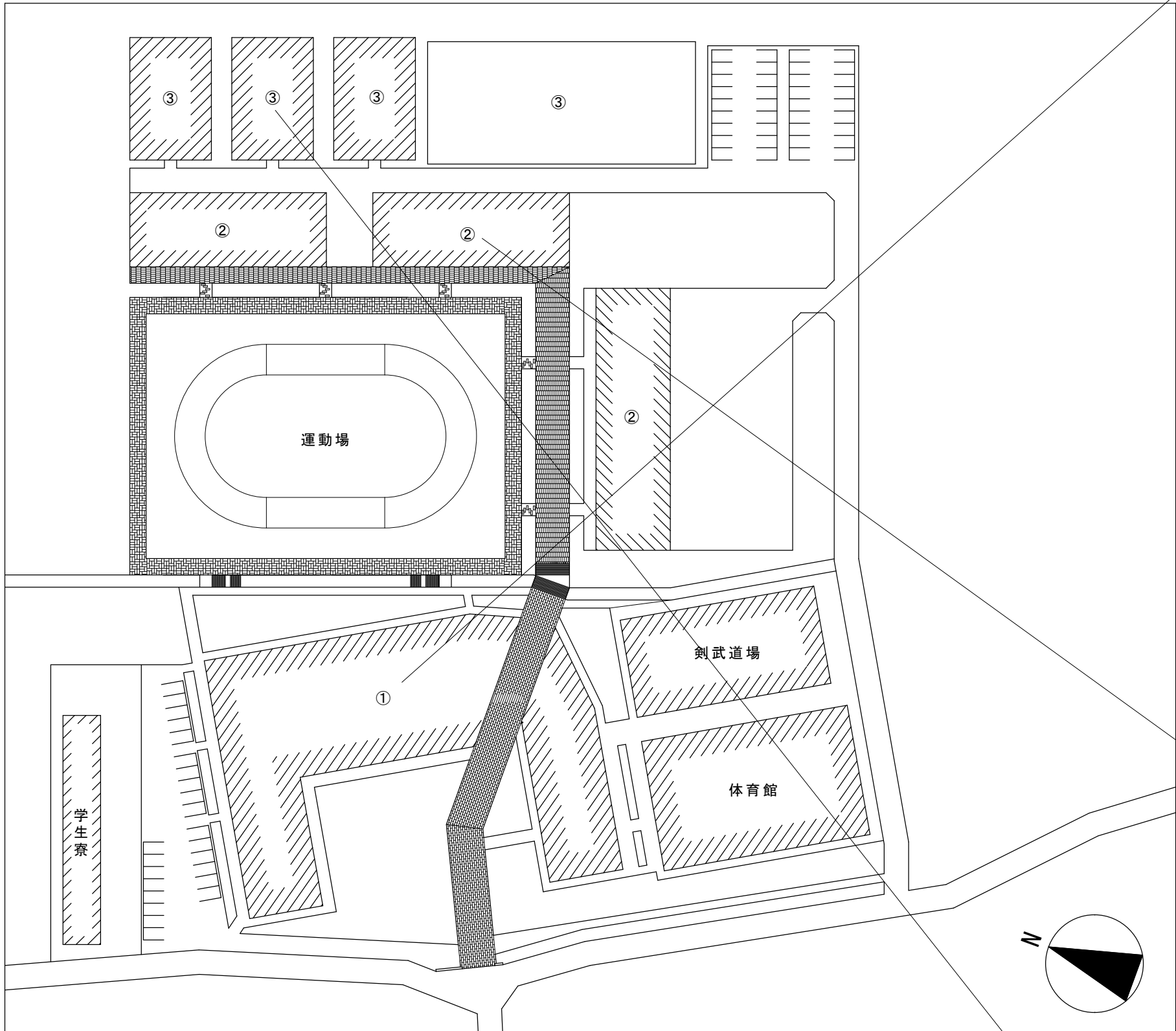
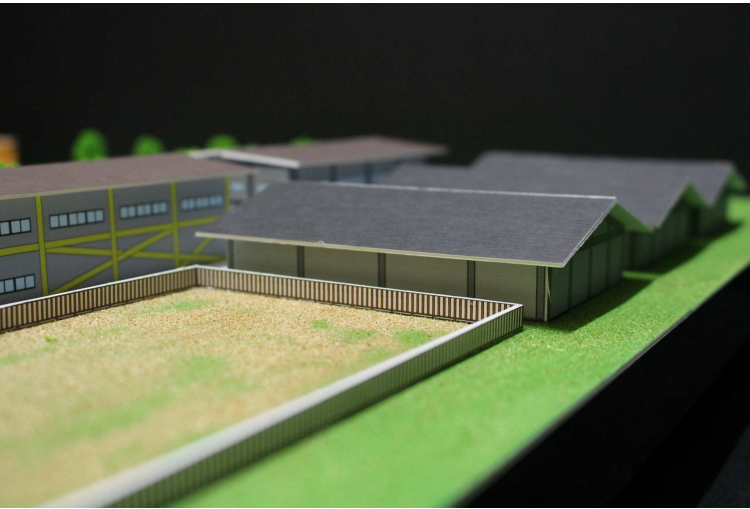
②. 実習棟

校内には三つの実習棟があり、それぞれの科の生徒が実習に取り組みやすくなっている。また、林業科・林産科は木材を使った実習が多いため室内の加工場以外にも外で活動できるよう敷地を広く取っている。

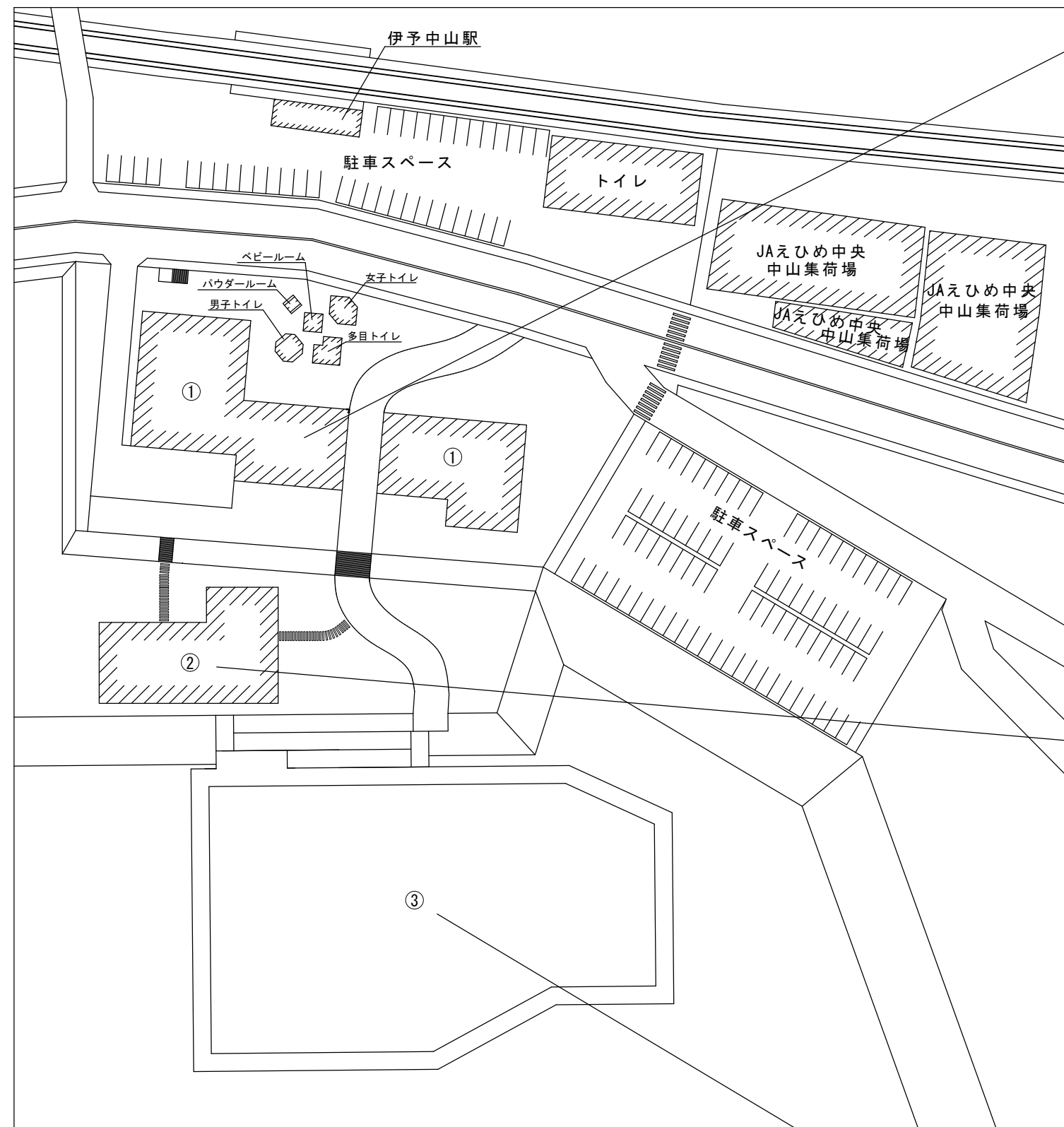


③. 畜舎・牧場

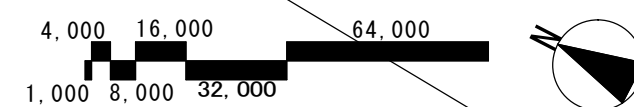
畜産科では牛・豚・鶏の三種類を飼育しており、食品化学科と協力して様々な食品を作っている。作った食品は学校以外にも道の駅で販売しており、地域のPRの一つとして活動している。また、文化祭などでは郊外の人たちにも動物と触れ合えるように牧場を使って、ふれあい広場として利用することも可能。



道の駅「栗の駅」

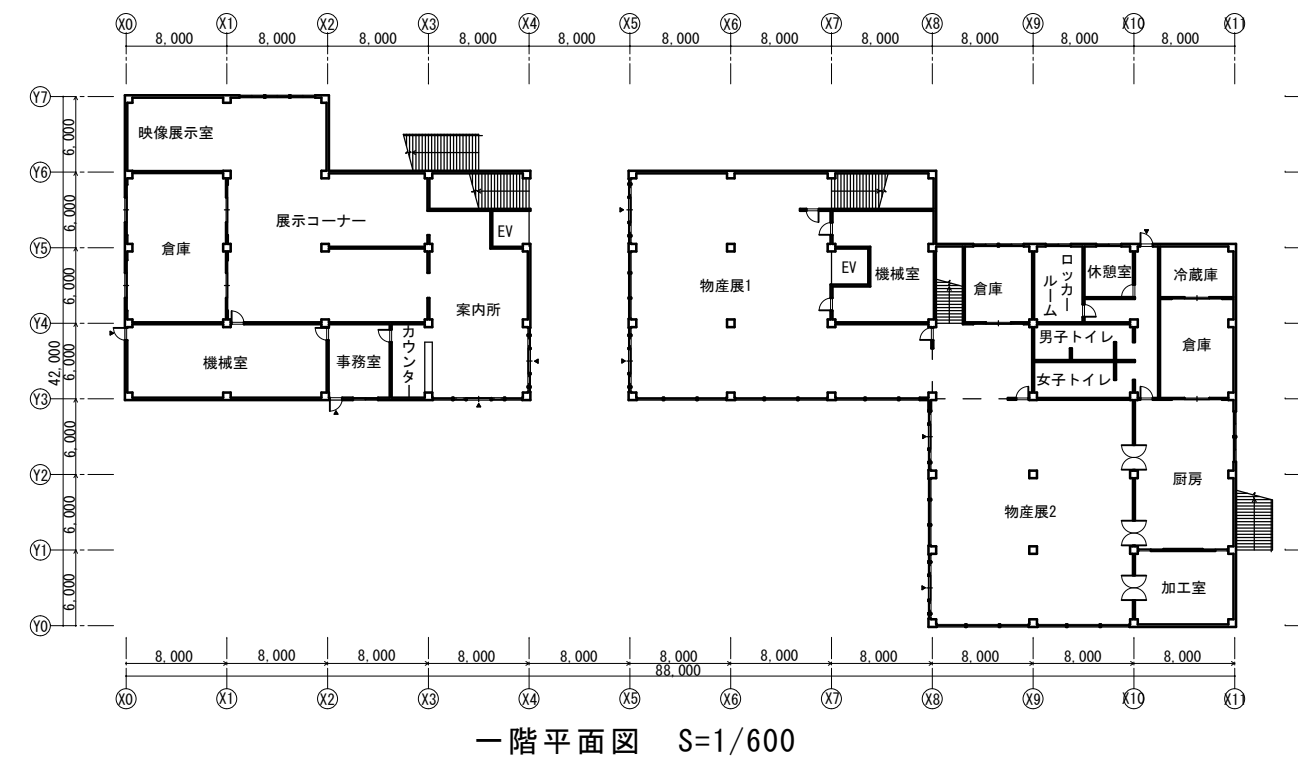


配置図 S=1/1200

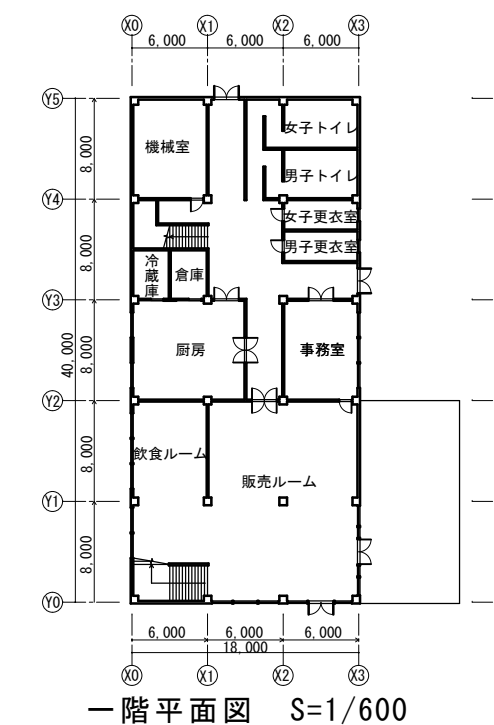


①. 栗の駅 本館

一階には物産展、案内所、展示コーナーを設けており、買物や中山町の歴史について知ることができる。二階には、レストランを設けており、中山町の郷土料理を楽しむことができる。



②. 栗の駅 別館

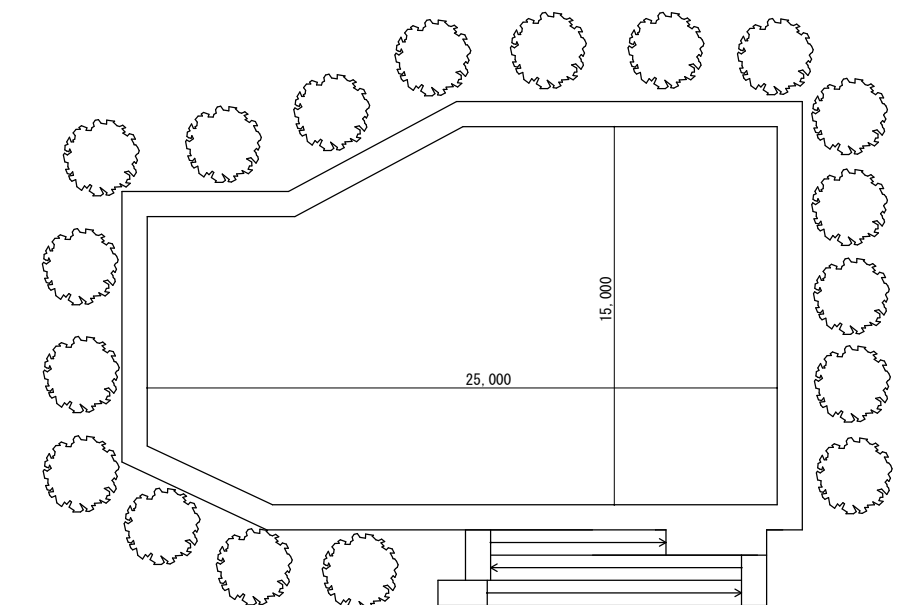
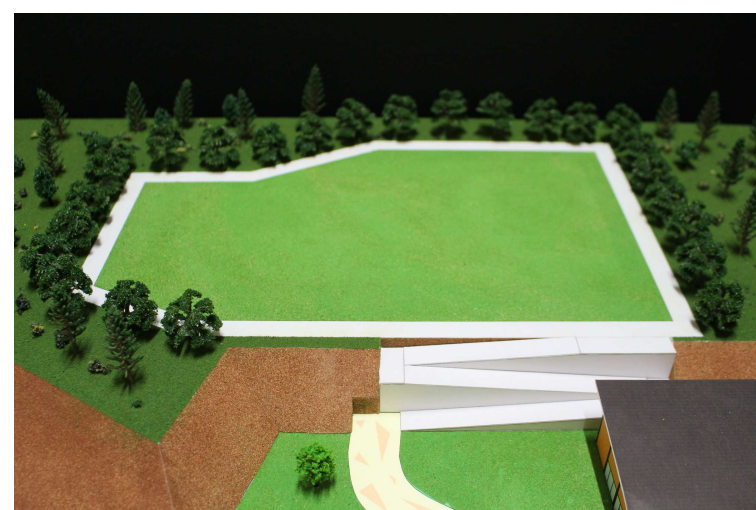


一階は中山栗を用いたスイーツを主に販売しており、洋菓子から和菓子まで様々な種類が置いてある。
二階は調理体験ができるようになっており、秋になると公園で栗拾いができるため、拾った栗をその場で調理することができる。

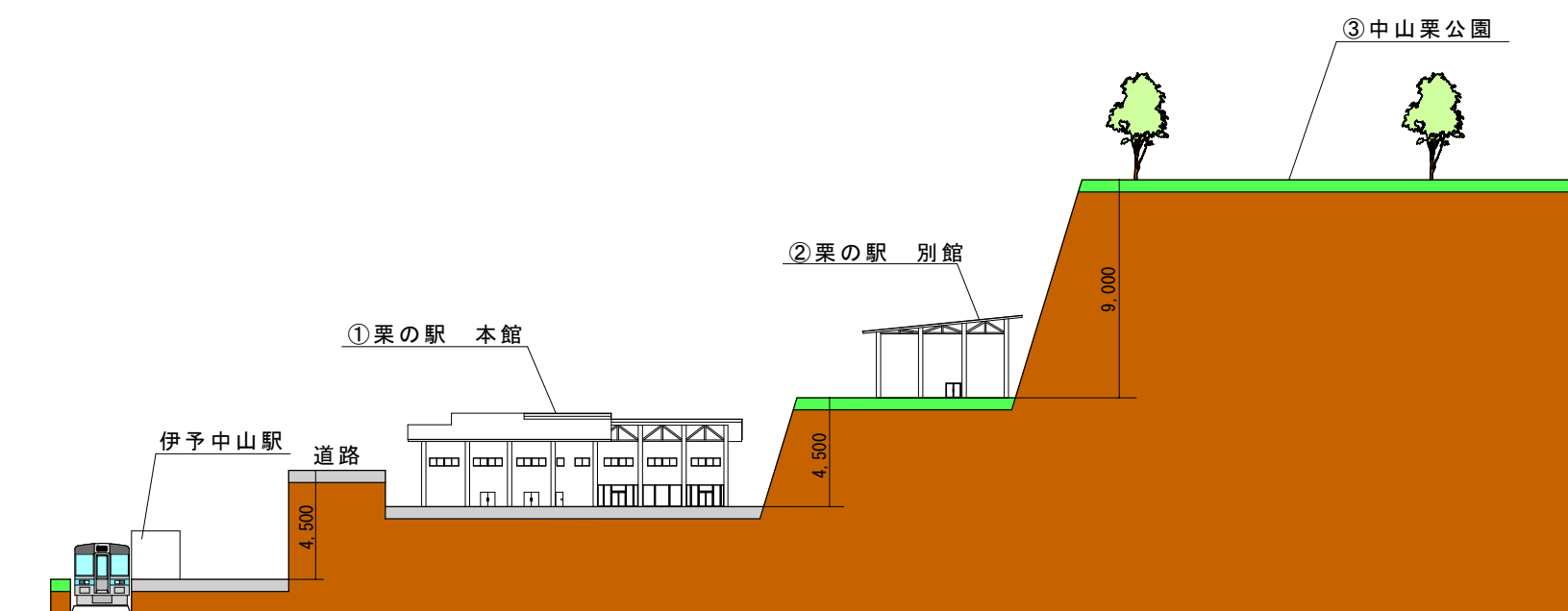


③. 中山栗公園

栗の駅が管理している公園で一般の人でも出入りが自由になっている。モチーフが松山の総合公園になっており、坂道を上ると自由に遊ぶことができる広場に繋がっている。また、公園の周辺には中山栗の木が植わっており、秋になると栗が落ちてくるので栗拾いを楽しむことができる。



平面图 S=1/1200



土地断面図 S=1/1200